

長岡市議会議員

# 松野 けんいちろう

## 市議会レポート

長岡の未来を切りひらく!

Vol. 18

市政に無関心でも無関係ではられない!!

### Profile

- 1975年7月13日生まれ O型
- 2019年長岡市議会議員初当選
- 2022年、2023年産業市民委員会 副委員長
- 好きなこと バドミントン 詩吟 スポーツ観戦
- 2023年長岡市議会議員2期目

このチラシは政務活動費を使用しておりません

## 2024年3月定例会

〈一般質問〉  
〈産業市民委員会〉

### ● オイシックス新潟アルビBCのNPBファーム参加について

- ・ 経済効果や地域活性化と機運を高める取り組みについて

### ● 悠久山野球場及び周辺整備について

- ・ NPBファームへの参加に必要な条件について
- ・ 交通対策について
- ・ 悠久山野球場のネーミングライツについて
- ・ 悠久山野球場及び周辺整備の課題について

### ● 悠久山野球場芝生管理について

- ・ 昨夏、芝生が枯れた原因調査について
- ・ 再発防止対策を講じた芝生修繕工事、管理について

### ● 学生に向けた長岡の企業紹介について

- ・ 進学に意識が高い高校生への地元長岡の企業紹介について
- ・ 市外に転居した学生に対する長岡の企業紹介について

### ● 令和6年度以降の消防団活動にあるポンプ操法訓練について



## 2024年6月定例会 非常災害時の対応および防災・減災について 〈一般質問〉

### ／ 松野のオ・モ・イ ／

長岡市は中越大震災、7.13水害から20年を迎え、新潟地震からも60年を迎えます。

元日の能登半島沖地震や宮崎県沖の日向灘での大きな地震など、日本列島各地で様々な災害が頻発している状況を踏まえ、あらためて防災・減災の重要性を認識しなければなりません。また、公助は大前提として災害発生直後の自助・共助についての意識もさらに高めていかなくてはならないと感じております。

現在、長岡市の職員数は平成の市町村合併以降、480名減少しており20年前の中越大震災のような大規模災害時にマンパワーをかけることができない現状であります。災害状況の把握や情報発信などでそろそろ防災システム導入が必要であると考えことから一般質問につなげました。

長岡市議会議員 **松野 憲一郎**

### Q : 現状の被害状況把握方法と集約情報の見える化について

**A :** 被害状況の把握は職員によるパトロールや市民からの通報、関係機関への聞き取りなどを行って、職員専用チャットや庁内の共有フォルダに報告している。対応経過を危機管理防災本部がホワイトボードなどにアナログ的なまとめをしている。被害状況を地図上で俯瞰できるよう情報集約する方法は極めて重要と考える。

(※俯瞰…広い視野で物事を見たりすること)

### Q : 今後の防災システム導入の考えについて

**A :** 情報集約から情報発信までを一連で行うシステム導入は有効な手段であることから先事例を研究するなど導入について検討していく。

### Q : 災害時に孤立する集落の現在の対応状況とスターリンクを活用した孤立対策について

**A :** 衛星携帯電話を45の集落に配備しているほか、支所やコミュニティーセンター等に41台配備している。孤立する可能性のある9地区に今年度新たに配備する予定である。

スターリンクについては衛星回線を活用したインターネット環境に接続できるなどの有効であると認識しているが、導入費用などが高額であることから市では衛星携帯電話を活用している状況である。



### Q : インフラ事業者と連携したデータ共有について

**A :** 災害時にインフラ事業者と現地状況の情報を共有することは、災害対応の上で有効であると考え。現在、長岡技大が中心となり、災害時におけるインフラ復旧効率化を目指し、現地情報を地図上で共有するデータプラットフォームの構築に取り組んでいる。

### 再質問

**Q :** 防災システム導入は情報の共有化や見える化がされ、市民のいのち・財産を守る意味で重要であると考え。また、災害時に市長が判断するときの一つのよりどころになるのではと思う。そこで、システム導入時期についてはどのように考えているか。

**A :** 導入に向けては、課題を抽出し整理しながらDX関係の補助も検討しながら行いたい。【危機管理防災本部長】

**A :** 検討を重ねながら、今のところ、**2年後**には導入したいと考えている。【磯田市長】

活動  
スナップ  
2024



2月

〈現場確認〉  
市民体育館脇の  
歩道新設工事



4月



6月



7月



子どもや歩行者が通行しやすくなりました!

●町内会活動支援給付金について

Q：町内活動支援給付金制度の概要と目的について伺う。

A：物価価格の高騰などの影響があることから町内会活動を継続を支援するために創設したものである。945町内会、支給額は、1世帯当たり1,200円の世帯割りにより算出し、予算総額が1億3,200万円となっている。【市民協働課長】

Q：本制度は報告書などの提出がなく簡単で使いやすいという声があったが、実績について把握したのか伺う。

A：使途についてのアンケートを実施し、597町内会から回答（63%）いただいたところである。給付金の主な用途は、公民館や防犯灯の維持管理、ゴミステーション、防災備品などの購入など幅広い用途で活用とのことで、給付金は大変助かるという声をいただいている。

Q：それぞれ町内会の規模が違うが、アンケートから見えてきた地域の課題もあると感じるが、アンケートを生かした今後の方向性について伺う。

A：町内会の負担軽減につながる方策を考えてほしいなど意見があった。こうした生の町内会の声を知ることができたので、得られたアンケートを生かし、町内会の自主的な活動が前進するよう今後のような支援ができるか考えたい。

●帝京長岡高校サッカー部のプレミアリーグ参戦について

Q：ホーム会場が長岡ニュータウン運動公園と  
いうことであるが、観客数について伺う。

A：4試合開催され、平均観客数は925名であり、最大は1,100名が公式記録となっている。【スポーツ振興課長】



Q：かなり多くの方が来場されているがニュータウン運動公園は座るスペースもあまりないと思う。観戦する方にとってはあまり良い環境ではないと感じる。基本的には主催者側が考えるべき案件だが、これから熱中症も注意しなければならない。どのように対策を本市として考えているか伺う。

A：日本サッカー協会が主催しており、熱中症対策ガイドラインによる様々な対策を講じて開催されている。会場は屋根のない人工芝ピッチということで安全な大会運営につながるよう、施設設備面の運用面から可能な限り協力していきたい。

Q：プレミアリーグの開催日程等を見ると人工芝会場は長岡会場だけだと思います。長岡には他にも開催できる会場があると感じるが、ニュータウン運動公園で開催する理由について伺う。

A：陸上競技場でも競技をしていた経過があるが、水害等の影響を勘案して、現在はニュータウン運動公園サッカー場において試合を行っている状況である。サッカー協会等々の意向も受けながらこのサッカー場において大会を開催している。

意見

人工芝でプレーするより天然芝でプレーした方が選手に負担が少ないことから、多方面から意見を聞き入れながら検討をいただきたい。

Q：ほかのチーム開催では、観客から入場料を頂いているところもあると聞いている。長岡も観戦料をいただき競技場のようなところで開催した方が良いと思うが、本市の考えを伺う。

A：ニュータウン運動公園は商業利用ができないという状況である。しかし、これまでも陸上競技場等の天然芝のフィールドをサッカー会場として使用してきた経過もあるので、長岡市サッカー協会関係者などの意向、主催者側や関係者等とも今後協議していきたい。



2月 悠久山芝生張替作業



3月 南中卒業式に出席



4月 悠久山芝生張替作業



5月1日 メーデー行進に参加



5月3日 令和6年度  
長岡地域二十歳のつどい



対応前



対応後

カメラ設置要望対応



JAM新潟加盟単組のみなさんと  
花火館周辺の清掃活動



JVCケンウッド  
ポータブル電源寄贈立会



毎日の見守り活動



四郎丸小入学式



次世代農業施設

